

第1号

本小の教育「授業研修会」

3年学活

◎授業スタンダード期「授業の型づくり期」

令和2年度がスタートして、1ヶ月になろうとしている。子ども達も、我々教師も、「新しい生活様式」を強いられた中での学習活動である。今年度における意気込みが一段と違う「順子」先生は、初任研。教育実習以来、全く初めて教壇に立つそうだ。この一年、子ども達と共に走り出す為の、「学級目標」をかかげるようです。

順子先生『誰でも最初は、ルーキー』です。威風堂々と子ども達の前に立ち、そして素直に先輩方のアドバイスを吸収して、「自分流」に「アダプテーション」しよう。



■ 3年2組 (学活) 「花城 順子」先生 6校時目 実施

【児童の手(学習規律)】

●「黙想」ー 授業開始まえに



【教室の色(支持的風土)】

●「ロッカーの整理・整頓」<環境>



【教師の眼(教師の姿勢)】

●「黙想」を見守る(教師の見取り)



●「よい姿勢」- 授業、始めの挨拶



●「異なる意見」も聞けるクラス



●「江里花」先生のサポートも V. Good !



●「班別会議」- 主体的で、対話的だ



■【授業の流れ】は、下記の通り■

- 01 休み時間に、机の中の道具をカバンへ
- 02 カバンをロッカーへ、納めさせる
- 03 急いだ為2人程、やや雑な納め方になる
- 04 全員で「黙想」。心を落ち着け。鐘が鳴る
- 05 「よい姿勢」「授業、始めの挨拶」
- 06 「本時は、学級の目標ざめ」を行う。
- 07 事前に「学校教育目標」は確認してある
- 08 家庭学習の一環で「考え」まとめさせる
- 09 各4人のグループを作らせる。(15秒)
- 10 道具を納めさせた理由の一つ目、発見。
- 11 班の中で①～④番と順番を割り振る。
- 12 指定された番号の人が、発言権がある。
- 13 班会議、特に司会・リーダーなくも進行
- 14 机の上、中に余計な物は何も無い状況だ。
- 15 道具を納めさせた理由の二つ目、発見。
- 16 自分達の学級に必要な要件が目標へと?
- 17 つまりは、自分達の欠点、改善点だろう
- 18 6班から3～4つ出た目標中から多数決
- 19 3点ほどに絞られて、本時は終わった。
- 20 鐘が鳴った後は、集中力がやや切れた。
- ※ 学級目標を「全員で決議」して終わった

●「各班会議」の【みとり】教師の眼!



■「子ども達の様子」(支持的風土)■

- 全体的には、良い風土(雰囲気)だ。
- 全く参画できない気になる男子が1名。
- 活発だが規範意識を育む必要な子2名。
- 他人の言動を監視する女子が数名いた。
- 各班の話し合い、リーダーの可能性大

■「支持的風土づくり」の4POINT■

- 「安心」：良い。今後も規律、規範意識を!
- 「所属」：教師の感謝の姿勢を前面へ出す!
- 「承認」：短学活で一日の良い行い振り返
- 「自立」：自己有用に基づく肯定感を高め

■「教師の様子」(教師力)■

- まず、「チーム3学年」の協働性が感じられた
- 事前の「授業プラン」をじっくり検討、練った
- 本年度一年間を左右する「学級目標」を決める
- 学校教育目標の[知][徳][体]にも触れてある
- 1時間で決めるのは困難。宿題として考えさす
- 班編制の時間短縮の為の「手立て」を考案する
- 班討議の際、いらぬ物は全て片付けさせた。
- 多数決(民主的採決方式)、合意形成を図る
- 時間短縮の為、司会進行は担任が行った。
- 全員の似顔絵と共に、学級目標を作成する予告

【感想】 「為す事によって学ぶ(Learning by doing)」(デューイ教育理論)、 特別活動の重要性!!

- 週案簿を通して、「学級活動授業」の企画・立案・準備、参観の呼びかけ、ありがとうございました。
- 全ての教育活動の基盤となる「学級経営」。話し合い活動を通して、「対話的な学び」も起こるのです。
- 為す事によって学ぶーつまりは、子ども達を活動させて、体験させ、気づかせ、感じさせるのです。
- 本時の授業で多くの良い点を見つけました。今後は、「先生の手」から「子供達の手」へ委ねて移行!
- 学級目標も決まりました。制作予定も公表(好評)。是非、みんなで協力し合って制作して欲しいです。
- 「学校と学級の目標」に落差があれば、愛だ(間)に、「学年目標」を入れて観るのも一つの方法です。



校長より

